

# 安全に楽しく 食事するために ～食事環境の見直し～

特別養護老人ホーム 浜松中央長上苑 松下佳寿美

## Y様 76歳 女性

### 既往歴

- 2012年 ・脳出血
- ・パーキンソン症候群

### 主な疾患

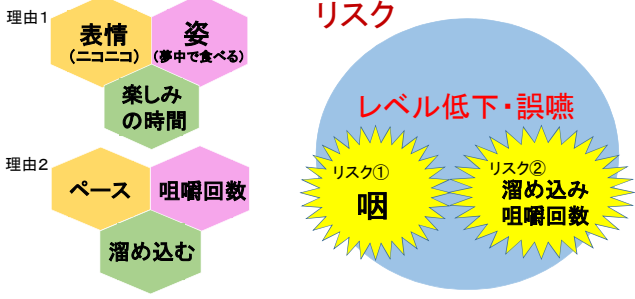
- 2014年 ・言語の減少出現、徐々に増悪
- ・左上下肢麻痺

### 好きな事、楽しみな事

- ・食べる、寝る、テレビ(ドラマ)



### 対象利用者様に選んだ理由



### 浜松中央長上苑の食事形態



### リスク予防への取組

#### リスク①口腔嚥下体操への声掛けの見直し

ポイント: 自発性を引き出す声掛け



### リスク②咽・溜め込み対策

ポイント: 一口大の見直しと検討

不適切な理由

- ・自身で気づかずに次々に口腔内へ溜め込み、一度に嚥下する。
- ・一口大が大きいのでは？



### その他①食べやすい環境づくり

ポイント: 背もたれ・姿勢・セッティングの工夫

#### 食事する際の気になる点

- ・左上下肢麻痺による不安定な姿勢
- ・共有テーブルの高さが、Y様の座高に合っていない  
⇒機能訓練士に相談

- ①座面の高さ
- ②姿勢
- ③セッティングの工夫

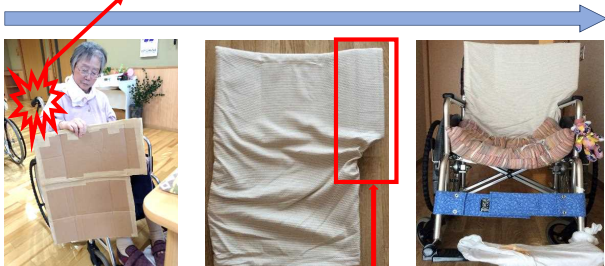
3つの視点からアプローチ

### ①座面の高さ



### ②姿勢

痛い!



\* 段ボール使用

\* 左側を少し出す

\* 完成

### 改善後



### ③セッティングの工夫



- Y様が食前に積極的に準備して下さる
- 段差を利用して傾斜にセッティング
- 滑り止め機能のついたお盆を使用⇒お皿が動かない、すくいやすい(Y様より)

### 活動の成果・評価

- 口腔嚥下体操が終わるまで取り組んでいただけるようになった
- 自発性を促すような声掛けを職員全員が意識して行えるようになった
- Y様が他入居者様へ自然と発語することが多くなった
- 言葉をあきらめずに探し意思表示され、発語する事に向き合う姿がみられた
- 挨拶がきっかけで他入居者様とのコミュニケーションがとれた
- 笑顔が増えた
- 水分類にはトロミ粉を5cc増量し食事の咽が以前に比べ減少した
- 以前は5分程で全量摂取⇒現在20分程でゆっくり味わって召し上がる

## 今後の課題・支援

□Y様より「焼きそば、みんな(ご家族様)で食べたいな」

□施設内での食事だけでなく、企画で外食等の計画をして施設外でも食べる喜びや楽しみを感じてもらおう機会を作っていきたい

